

たなか慶の黒絵本シリーズ(ちょいコワ)

ひとくいばな

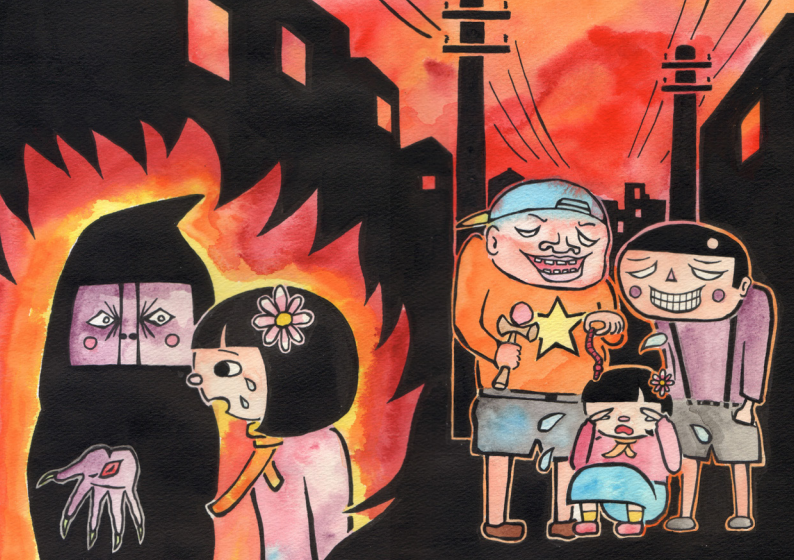


ぶん
絵
た
なか
慶

ひとくいばな



ぶんえ たなか けい
文・絵 たなか 慶



ちいさくて おとなしい みかこは、いつもいじめっこたちに、いじめられていました。

そんなあるひ…。くろいふくの おばあさんが、やってきて、いいました。

「わたしは うらないし、なんでもわかるのよ。あなた、いつも いじめられているわね。
このたねで、あなたのともだちを、そだててみない？」

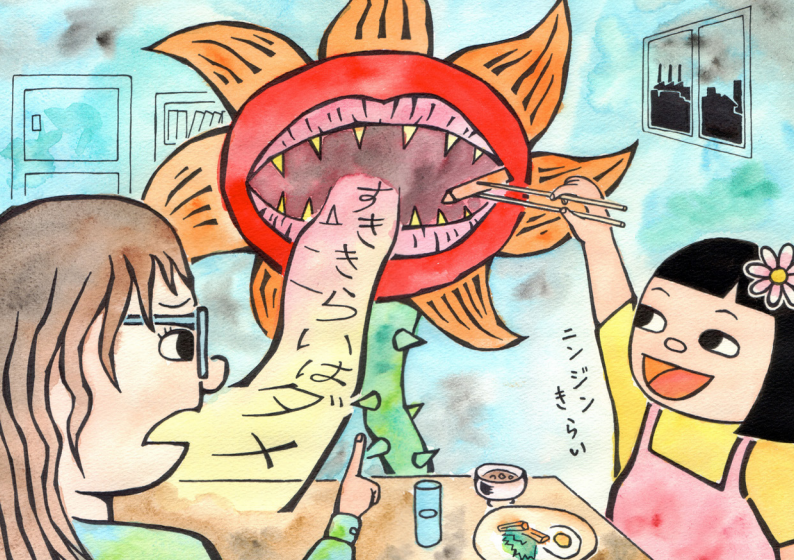


「このたねを そだてると、あかい おおきな はながさくの。
そのはなには、おくちがあって、あなたが きれい といったものを、
なんでも たべてくれるの。たくさん おみずをあげて、そだててね。」
おばあさんは、いいました。

「おみずをあげればいいのか。あげてはいけないものは あるの？」
みかこは、ききました。

「そうねえ… なみだはだめよ。このはなは、つよいはなだから、
なきむしはきれいなの。」うらないしは、こたえました。

「わかった。わたし、もうなかないわ。」みかこは、いいました。



なにちか、みずをあげてそだてたら、ほんとうにおおきなくちのはなが、さきました。

そして、みかこがきれいといったものを、このはなが、ぜんぶたべてくれました。すききらいばかりするみかこを、おかあさんはしかったです。すると、そのはなは、おおきなくちで、おかあさんのこえまで、すいこんでしまいました。



ためしよみ

は

ここまでです